

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	コベルプラスジュニア浦和教室		
○保護者評価実施期間	2024年 7月 20日		～ 2024年 8月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	80	(回答者数) 35
○従業者評価実施期間	2024年 7月 20日		～ 2024年 8月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 9月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもが安心感を持って利用してくれている割合と、子どもが通所を楽しみにしてくれている割合が高いこと。	学校を一日頑張った後に更に療育に通う事は、子ども達にとって疲れも出やすく気持ちが前向きに動きづらと思うので、楽しく取り組めるプログラム構成を心掛けている。	自分の居場所のひとつとして、ジュニア教室が安心できる環境となれるよう、共感する力を大切に子どもたちと向き合っていきたい。
2	保護者とのフィードバックにより連携が取れていること。	小集団療育後のフィードバックを個別に実施する事で、より個別化した相談を受けられるようにしている。	10分間のフィードバックでは話が不十分になってしまったり、月に1～2回だけのフィードバック機会になってしまうので、別途個別相談を承ることができるよう個別面談の周知を進める。
3	プログラムが固定化せず、子どもたちが飽きずに通所できていること。	コベル本部から共有される教材に留まらず、目の前にいる子どもたちに必要な経験は何かを常に考えながら、課題を実施している。	学齢期に特に要望が高まるSSTを強化していけるよう、引き続きイベント療育を実施して子ども同士の関わり合いの機会を増やしていきたい。又、きょうだい児支援も大切なので家族でご参加いただけるイベントを定期的実施していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の専門性、スキルに差があること	新卒社員や福祉業界の経験が少ない社員、など新しい職員が入った時には独り立ちするまでに時間が掛かる。	先輩職員が療育の見学やフィードバックを行う事で、新人育成に力を入れていく。 又、外部研修にも参加をすることで知識を付けていく。
2	各種マニュアルが保護者に周知出来ていない事	マニュアルに関しては保管場所が分かりやすく保護者に周知出来ていない。また、避難訓練の実施も周知が不十分と思う。	改めて保護者に分かりやすい方法で掲示、もしくはご報告をするなど対応を実施する。
3	地域の子どもと活動する機会がない事	事業所内での支援活動に重点を置いているので、地域に開かれた運営はできていない。	地域で行われるイベントや、同じ福祉分野の皆さんと一緒に活動できるイベントがあった場合には積極的に参加をしていく。